

TOTO 施工説明書

品名	ウォシュレット一体形便器
型式	ZGR11・I/ZG11・I ZSR11・I/ZS11・I

安全に正しく施工していただくために

作業を誤った場合の危害・損害の程度をつぎの二つに区分しています。
いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

はじめに

- 製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
- 施工方法が新しくなっています。説明書をよくお読みください。
 - 電気工事が必要な場合は必ず電気工業者に依頼してください。
 - 同梱の取扱説明書・使い方説明シートは、必ずお客様にお渡しください。
 - 取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
 - リモコン便器(CS971BR・CS971Bの場合)は、便器側に同梱している施工説明書にそって取付けてください。
 - 既設便器(旧ZG・ZS)への機能部の取付けは、TCA33またはTCA34内の施工説明書にそって行ってください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

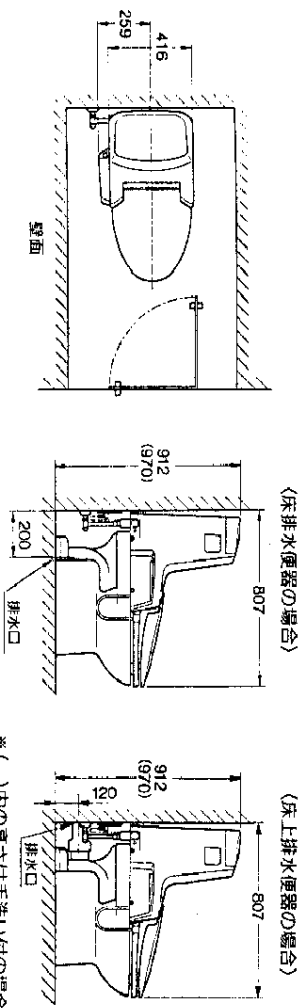
- 浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
- アースは、D種接地工事(100Ω以下)を行ってください。(感電のおそれがあります。)
- ウォシュレットに使用できる水は上水および飲用可能な井戸水(地下水)のみです。
その他の井戸水(地下水)や工業用水および中水道に接続しないでください。
(皮膚の炎症を起したり、部品の腐食を起すおそれがあります。)
- 電源プラグは交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。また
ガタついているコンセントを使わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ロータンクの水量を調整してください。
(ロータンクから水があふれだし、床を濡らすおそれがあります。
→調整方法は、裏面の**8** **ロータンクの水量調整** をご覧ください。)

取付前のご注意



※()内の高さは手洗い付の場合

●トイレスペース

ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

※室内暖房用の温風吹出し口には150mm以上の空間を確保してください。

●電源

電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は840W(ヒータ付便器の場合は673W)です。

●コンセント位置

コンセントは、本体のコード取出位置から0.6m以内の壁面に取付けてください。

電源コード・アース線の長さは1.0mです。

●給水圧力範囲

給水圧力範囲は0.05(流動時)~0.75MPaです。

※仕様の詳細は、取扱説明書(ZGR・ZGタイプは46ページ、ZSR・ZSタイプは33ページ)をご覧ください。

部品の確認

■総合セット品番

CES 970 BH L Y G

手洗いの有無	記号	種類
なし	なし	あり

止水栓+(連結ホース)	記号	品番
なし	K	なし
あり	E	TCA27
	G	TCA28

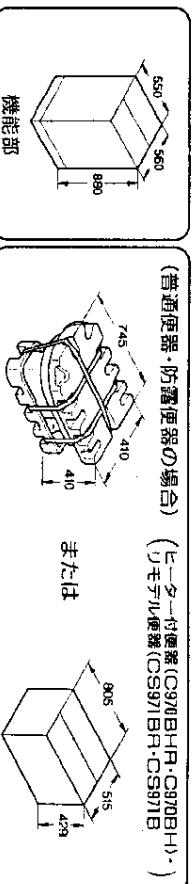
内部全員の種類	記号	品番
なし	なし	一般
あり	Y	水抜方式
	F	流動方式

機 種		便 器 品 番 記 号				
記 号	機 種	左 L	B	BH	BM	BP
CE S97	ZGR11	C970R	C970BR	C970BHR	C S97BR	C970BPR
CE S95	ZG11	C970	C970B	C970BH	C S97B	C970BPR
CE S92	ZGR1	C970R	C970B	C970BH	C S97BR	C970BPR
CE S90	ZG1	C970	C970B	C970BH	C S97B	C970BPR
CE S87	ZSR11	C970R	C970BR	C970BHR	C S97BR	C970BPR
CE S85	ZS11	C970	C970B	C970BH	C S97B	C970BPR
CE S82	ZSR1	C970R	C970BR	C970BHR	C S97BR	C970BPR
CE S80	ZS1	C970	C970B	C970BH	C S97B	C970BPR

※床排水便器用・排水ソケットの品番はTCA29です。

床排水用便器・排水管用・ベッキンの品番はTCA35です。

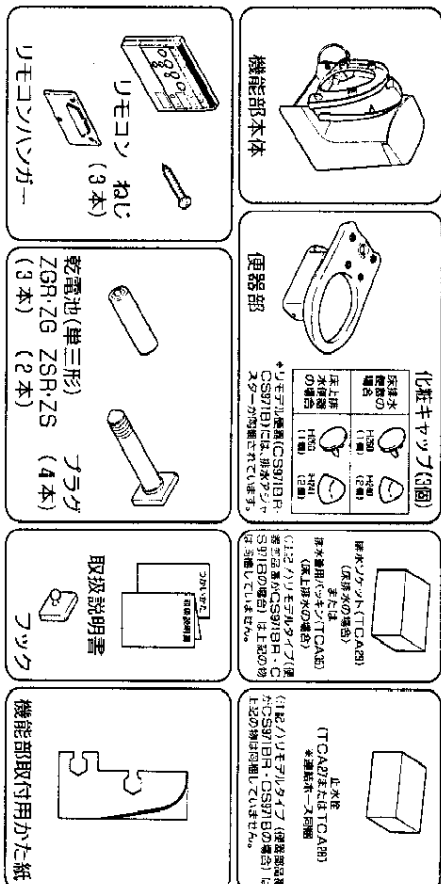
梱包



(普通便器・防護便器の場合) (ヒーター付便器(C97BHR・C97BHI)・リモコン付便器(C97IBR・C97IB))

または

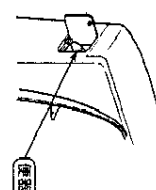
部品



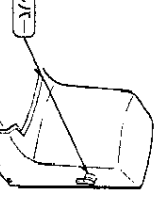
各部の名まえ

便器自動洗浄部

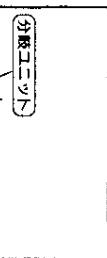
●ZGR・ZGの場合



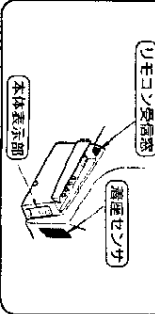
●ZSR・ZSの場合



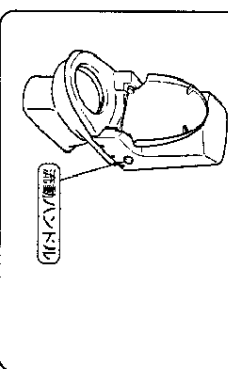
機能部本体の給水部



補助操作部



流動方式の場合

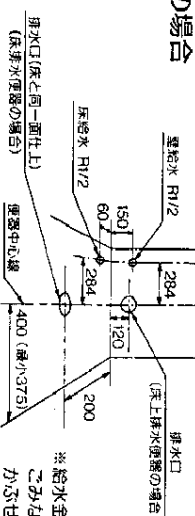


取付作業の手順

1 給水金具と排水管の位置決め	4 ページ	7 リモコンの取付け	9 ページ
2 止水栓(水抜きソケット)の取付け	4 ページ	8 ローターノックの水量調整	9 ページ
3 止水栓と連結ホースの接続	5 ページ	9 試運転	10 ページ
4 便器部の取付け	6 ページ	10 ストローナの掃除	10 ページ
5 機能部本体の取付け	6 ページ	11 お客様への引渡しの際には	10 ページ
6 連結ホースと分岐ユニットの接続	6 ページ	12 凍結による破損の予防	10 ページ

1 給水金具と排水管の位置決め

床排水便器の場合



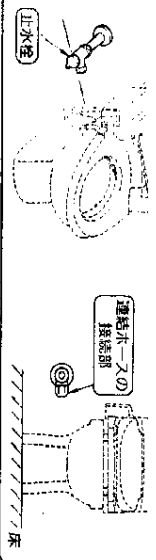
※給水金具と排水管を取り出した後、ごみなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

2 止水栓(水抜きソケット)の取付け

●同梱の止水栓または水抜きソケットを必ず取付けてください。

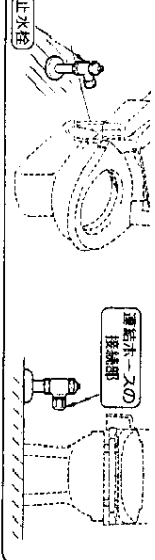
壁給水

連結ホースの接続部を便器側に向けて取付けます。



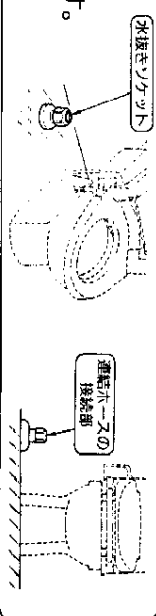
床給水

連結ホースの接続部を便器側に向けて取付けます。



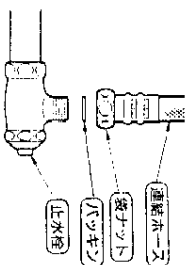
床給水

(水抜きソケットの場合)
水抜きソケットを取付けます。



※器具を取付ける前に必ず止水栓を開いて給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

3 止水栓と連結ホースの接続



止水栓と連結ホース(袋サット側)の間に
パッキンをはさんで締付けます。

4 便器部の取付け

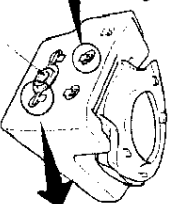
詳しくは排水ソケットまたは便器に同梱の施工説明書をごらんください。

5 機能部本体の取付け 〈新施工〉

※ 固定カブラは、工場で便器の正しい位置に適性トルクで締付けていますので
施工時締付けたり、ゆるめたりしないでください。

●機能部本体を取付ける

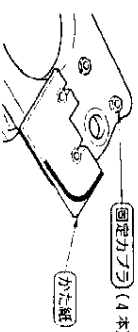
① プラグを取付ける



プラグ(4本)を本体底に
取付けます。

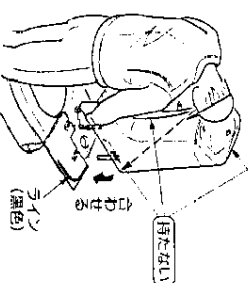
※ ロータンクパッキンがついていることを確認してください。

② かた紙を置く



便器上面に突出している固定カブラの
六角フランジ部(右側2個)に合わせて、
かた紙を置きます。

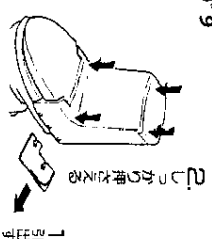
③ 機能部本体を取付ける



機能部のケース外周をかた紙のライン(黒色)に
合わせながら便器に取付けます。

※ 機能部本体を持ち上げるときは、便座、便ふた、ケース
ふた、および室内機房吹出口(ZGR11・ZGR11の場合)
は持たないでください。

④ かた紙をはすす



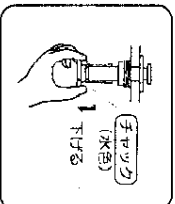
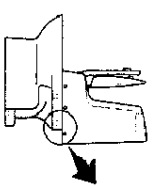
1. かた紙を横に引出します。
2. 便座、便ふたをおろして機能部を
上からしっかり押さえてください。

⑤ 確認する

機能部が固定されていることを確認します。
(機能部を軽く持ち上げて動かないことを確認してください)

●機能部本体をはすす場合は...

① ロックを解除する



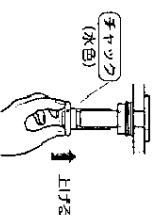
便器下面にあるチャック(水色)を
下側にカチャッと音がするまで下げて、
プラグのロックを解除します。(4カ所)

② 機能部本体をはすす



そのまま機能部を上には持ち上げます。
(軽く持ち上げられない場合は、ロックが解除されていません。)
(無理にはすさず、①へ戻ってやり直してください。)

③ チャックを上げる



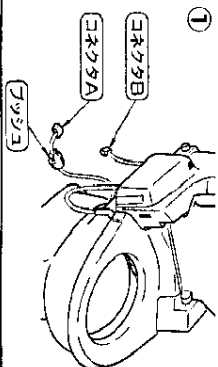
チャック(水色)を上げます。
(4カ所)

●機能部本体をはすした後、もう一度取付ける場合は...

●機能部本体を取付ける
固定カブラにプラグを差込みます。

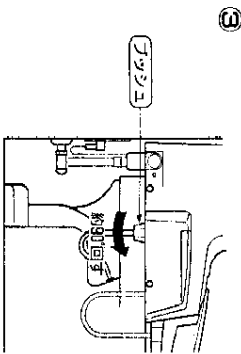
⑤ページ ●機能部本体を取付けるへ戻り、機能部本体を取付けてください。

ヒータ付便器の場合



ヒータコードのコネクタAと補助操作部の下にあるコネクタBを接続します。

1. 接続したコネクタA・Bをケース底面にあるフッシユ取付穴の中に押込みます。
(リード線を持って少しずつ押込むと)
(スムースに入ります。)
2. フッシユを左図の向きに持ち、フッシユ取付穴に差込みます。



フッシユを矢印の方向に約90度回して固定します。

リモコンの接続 (新施工)

- ① キャップを外す
 - A. ロック用リング(氷色)を持ち上げたまま、左に回してロック解除します。
 - B. リンタッチカラ(白色)を下げてキャップを外します。

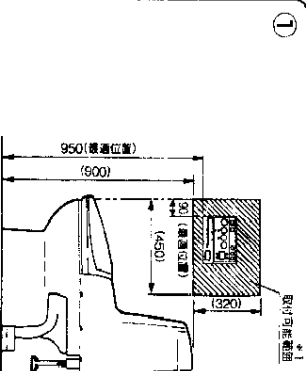
② 給水カラを接続する

- 給水口のプラグにリンタッチカラをカチッと音がするまで差込みます。
※ホースを真下に下げて外れる場合は、リンタッチカラを下けた状態にして再度差込んでください。

※機能部の給水接続は給水口のプラグを外す事により、管用平行ねじ型へ変更できます。

- ③ ロックする
ロック用リング(氷色)のみを持ち上げたまま、右に回してロックします。
※ロックした後は、リンタッチカラ(白色)を下けても、給水カラが抜けないことを確認してください。
④ 注意 ロックは必ず行ってください。
(漏水するおそれがあります。)

- ④ カバーをかぶせる
ネットの上にカバーをかぶせます。
⑤ 注意 カバーは正しい位置にかぶせてください。
(間違った位置にかぶせると、漏水するおそれがあります。)

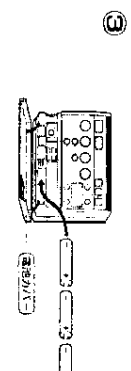


リモコン取付位置を決めます。
■ のところが取付可能範囲です。

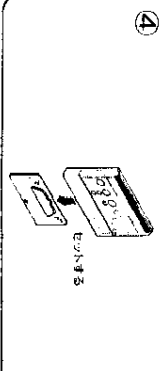
※ 1. 弊社試験環境(W600×L1700×H2300)下での取付可能範囲です。



リモコンハンカークをねじで取付けます。
※ねじが使用できないときは、中空ボートプランカー類を使用してください。



(ZGR・ZGの場合 3本)
(ZSR・ZSの場合 2本)
電池カバーを開け、
⊕⊖の向きを確かめて電池を入れます。



リモコンをハンガーにセットします。

■ 別売オプション・らくらくリモコン(TCA31、TCA32)の場合
らくらくリモコンに同梱の取扱説明書をごらんください。

ロータンクの水量調整

1. 水漏れの点検をする

止水栓を開いて、配管からの水漏れがないことを確認します。

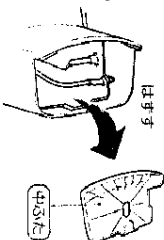
2. ケースふたを取りはずす

手洗いの場合

① ケースふたの後方を上げながら
はずします。

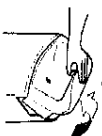


② 中ふたを
はずします。

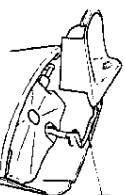


手洗い付の場合

ケースふたの後方を上げながら
はずします。



② 手洗い管チューブ
はずします。

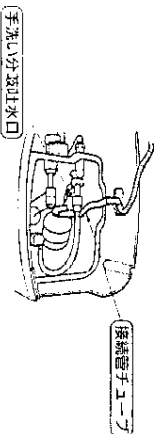


③ 中ふたをはずします。
④ 接続管チューブ(茶色)をはずします。

止水位の調整をするとき、ケースふた(手洗い部)からも水が流れます。
次の手順でケースふたへの水をロータンクに流すようにしてください。

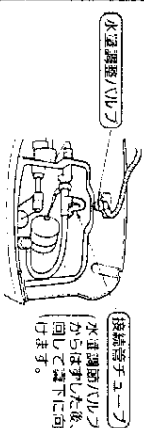
寒冷地仕様以外の場合

●接続管チューブを手洗い分岐止水口から
はずします。



寒冷地仕様の場合

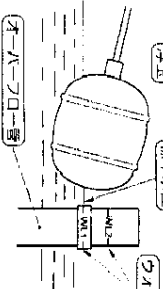
1. 接続管チューブを水量調整バルブから
はずします。
2. 下図のように接続管チューブを回して真下に向けます。



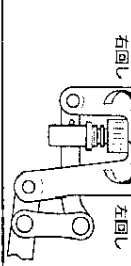
3. ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWLに合わせる

ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWL1の位置に合わせます。

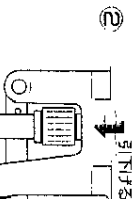
※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。
※ラインが2本ある場合はWL1に合わせてください。
※既設便器(旧ZG・ZS)に取付ける場合はWL2に
合わせてください。



① 浮玉を軽く手で押さえながら水位調整リングを
引上げて回し、ウオーターライン(オーバーフロー管に
WLと表示)に止水位を調整します。



※止水位の上がり、下かりの確認は、一度便器の水を流して水位を
下げた後、自然に止まる水位で確認してください。
※上から見て右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がりま
す。1回転回すと水位が約8mm変わります。

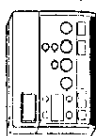


調節後は、水位調整リングを引下げて
確実にロックします。

4. 水を流してロータンクの止水位を確認する

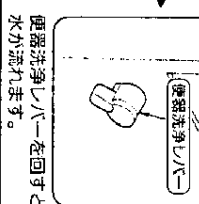
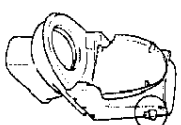
●ZGR・ZGの場合

電源プラグを
差込みリモコ
ンの「A」・「B」を
押すと水が流れます。



⚠警告 電源プラグは交流100V(50/60Hz)の
コンセントに根元まで確実に差込みます。

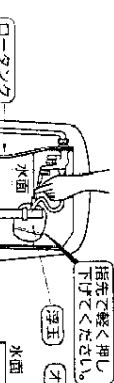
●ZSR・ZSの場合



5. ロータンクの給水量を調節する

※万一、ボールタップが故障しても、ロータンクの水が外にあるれないよう、
必ず給水量を確認・調節してください。

① 浮玉を指先で軽く押下げ、
止水栓を徐々に開きます。

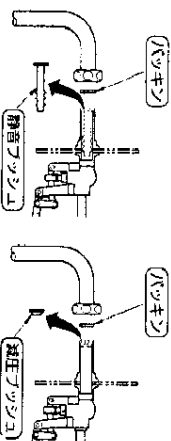


② 止水栓を全開にし、水面が
オーバーフロー管より10mm以上
上昇しないことを確認します。
10mm以上上昇する場合は、
止水栓で給水量を調節します。

■水圧が低く、ロータンク貯水に時間がかかりすぎる場合 (0.08HMPa以下)

〈寒冷地仕様以外の場合〉

〈寒冷地仕様の場合〉



- ①止水栓を閉めます。
- ②配管内の水抜きをします。
- ③静音フッシユまたは減圧フッシユをはずします。
- ④付属品のパッキンを使って、もう一度接続します。

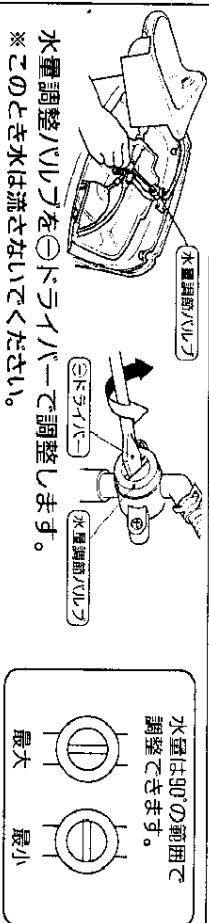
■水圧が高く、給水音が激しい場合 (水抜方式)

※水圧が高いとロータンクへの給水音が激しくなり給水量が増えます。
ほかの水栓の吐水量に支障のない程度に元/バルブを絞ってください。

6. 接続管チューブを接続する (手洗い付の場合)

※接続管チューブを確実に接続してください。(漏水の原因になります。)
※接続管チューブは、便器洗浄のとき、レバー(小)とのすまが約10mmあるように取付けてください。(接続管チューブとレバー(小)が干渉して便器洗浄不良の原因になります。)

7. 手洗い水量を調整する (寒冷地仕様手洗い付の場合)



水量調節/バルブをレバー(小)で調整します。
※このとき水は流さないでください。
(水を流すと本体内に水がかかり、故障するおそれがあります。)

8. 中ふたを取付ける

9. ケースふたを取付ける

※手洗い管チューブが折れないように注意してください。(手洗い付の場合)

10. 水を流して手洗い水量を確認する (手洗い付の場合)

便器の水を流して手洗い水量が適量になったか確認します。

9. 試運転

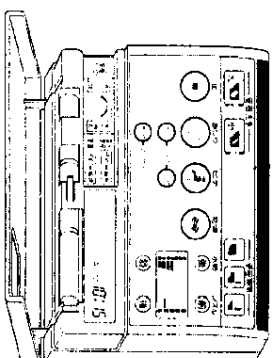
1. 電源プラグを差込む

電源プラグを差込むと、ノズルが一度出て戻ります。

警告 電源プラグは交流100V (50/60Hz) のコンセントに根元まで確実に差込みます。

2. 正しく製品が機能するか確認する

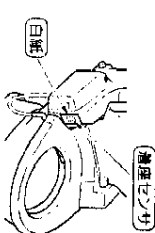
リモコン操作部



補助操作部

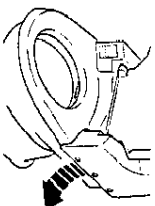


①着座センサを白紙などでおおう



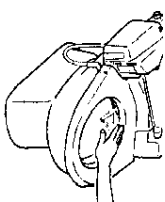
●着座センサを白紙などでおおいます。
(白紙などでおおおうと着座センサが感知した状態になります。)

②脱臭機能を確認する



●本体ケースの右側から風が出ていますか?

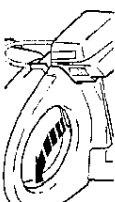
③洗浄機能を確認する



●①②を押すとノズルから適温の温水がは水しますか?
吐水は手のひらで受けてください。
(タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)

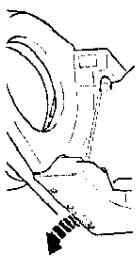
※ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「通風」位置に移動させてください。
●③④を押すと水勢が変化しますか?
●本体から水漏れはありますか?
●⑤を押すと止まりますか?

④乾燥機能を確認する



●⑥を押すと温風が便座後方から出ますか?
●⑦を押すと温風が止まりますか?

⑤室内暖房機能を確認する (ZGR II・ZG IIの場合)



- 補助操作部の室温つまみを「高」にしてリモコンの **【暖】** を押すと、本体右側面から温風が出ますか？
※ 室温30℃以上の場合は温風にならないことがあります。
- 設定温度よりも室内温度が高くなるとファンが止まります。
【暖】 をもう一度押すと約10秒後に温風が止まりますか？

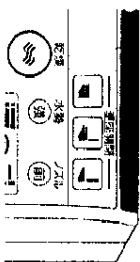
⑥暖房便座機能を確認する

- 便座が温まっていますか？
(10～15分かかります。)

⑦着座センサの白紙をはずす

- 着座センサをおおっている白紙などははずします。

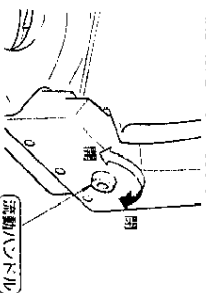
⑧便座・便ふたの開閉機能を確認する (ZGR II・ZG IIの場合)



- **【座】** **【ふた】** を左から順に押して表示とおり便座・便ふたが開閉しますか？
※ 初めて動かしただけ「カタッ」という音がすることがあります。これは正しく開閉させるための初回動作の音で異常ではありません。

⑨凍結防止機能を確認する (流動方式・ヒータ付便器の場合)

■流動方式の場合



- 流動ハンドルを開けて便器へ水が流れますか？
※ 確認したら流動ハンドルを閉じて水を止めます。

■ヒータ付便器の場合



- **【凍結防止】** を押してランプが点灯しますか？
※ 確認したら、便器凍結防止スイッチを切ります。

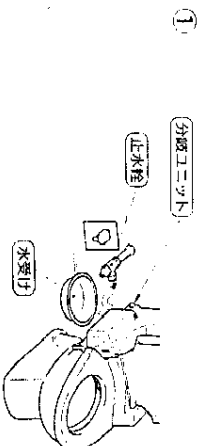
10 ストレーナフタの掃除

1. 止水栓を開める

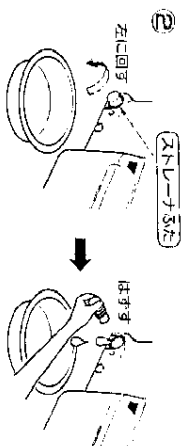


- 止水栓を
①ドライバーで開めます。

2. ストレーナフタをはずす



分岐ユニットの下に水受けを置きます。



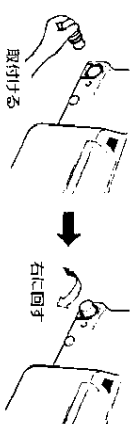
ストレーナフタを左に回してはずします。
※ ストレーナフタを開閉するときはペンチなどの工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)

3. 掃除をする



ブラシなどで掃除します。

4. ストレーナフタを取付ける



ストレーナフタをよとの位置に戻し、
右に回して取付けます。

5. 止水栓を開ける



止水栓を左に回して開けます。
※ 漏水がないことを確認してください。

11 お客様への引渡し時には

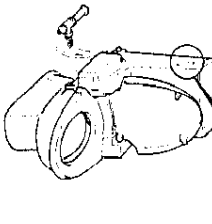
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・つかいかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引渡しまでに時間があるときは電源プラグを抜いておいてください。

12 凍結による破損の予防

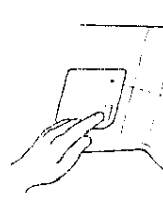
お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため止水栓を開めた(水抜きの場合は開)後、次の要領で水抜きしてください。

1. ロータンクの水を抜く

■ZGR・ZGの場合



① ふた



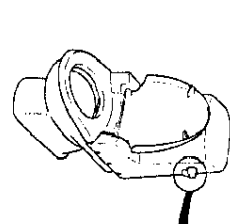
ふたを押して開きます。

②

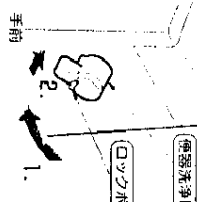


1. 便器洗浄レバーを奥に止まるまで回したまま
2. 押込んでロックします。
(水抜き方式の場合)

■ZSR・ZSの場合

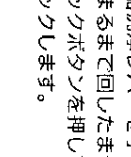


①



便器洗浄レバー
ロックボタン
手前

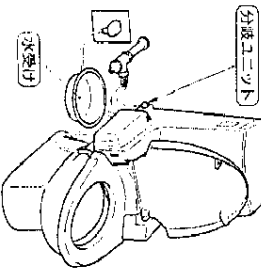
②



1. 便器洗浄レバーを手前に止まるまで回したまま
2. ロックボタンを押してロックします。
※水抜き方式以外はロックボタンはありません。

2. 配管の水を抜く

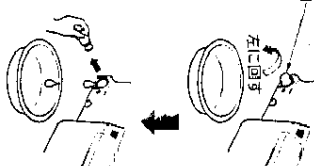
① 分岐ユニット



分岐ユニットの下に洗面器などの水受けを置きます。

②

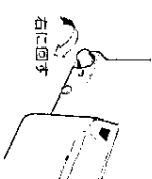
分岐ユニットのストレーナふたを左に回します。
※ストレーナふたを開閉するときはペンチなどの工具は使わないでください。
(破損の原因になります。)



ストレーナふたをはずして配管の水を抜きます。

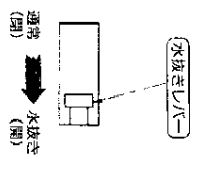
③

ストレーナふたを右に回して取付けます。

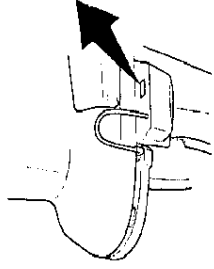


3. ウォッシュレット内の水を抜く

水抜きレバー



通常 (開) → 水抜き (閉)



補助操作部下の水抜きレバーを「水抜き」位置に移動させ、ウォッシュレット内の水を抜きます。

※ウォッシュレット内の水は、約4分でノズル左側から便器内に抜けます。

4. 水抜きレバーを「通常」位置に戻す

5. 電源プラグを抜く

6. 便器の溜水の処置をする

便器の溜水が凍らないよう、不凍液を入れるなどの処置をします。